

超実力派 津軽三味線ユニット

出演者全員日本一！ 伝統曲からオリジナル曲まで、一糸乱れぬ撥捌きをご堪能下さい

ベベン～BEBEN～コンサート



BEBEN TSUGARU-SHAMISEN

2026年 6月27日(土) 14時開演
中津川文化会館ホール (開場30分前)

入場料
(全席自由)

一般 3,000円 小中高生 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

発売日
4/1(水)
9:30

<プレイガイド>

中津川文化会館

チケットピアp320-586

恵那文化センター

LINEチケット

【主催】一般社団法人 中津川市文化協会

【共催】中津川市・中津川市教育委員会

<お問合せ>0573-66-4011 (中津川文化会館)



大塚晴也
幼少の頃から祖母の元で三味線や琴に親しみ、小学2年の冬、津軽三味線に出会い愛知県津軽三味線教室、雅會・中野貴康師匠に師事し、現在に至る。県内外の演奏や文化祭、イベント等に参加しながら、別ジャンルとのコラボ等も積極的に行い日本の伝統音楽の魅力を伝える事を若手ながらの手法で取り組んでいる。



柴田 愛
7歳の時に民謡を歌い始め、2002年10歳で津軽三味線を富塚 孝氏に師事。小柄な体から生み出される女性奏者ならではの繊細な音色と力強い演奏で人々を魅了している。



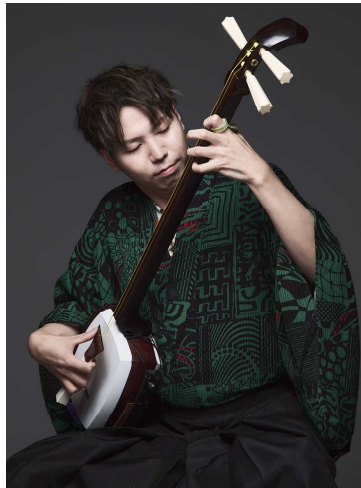
柴田佑梨
11歳の時 父の影響で民謡を習い始め、2002年15歳で津軽三味線を富塚 孝氏に師事。力強い撥捌きとパワフルな音色で男性にも負けない演奏を披露する。



柴田雅人
9歳の時 父の影響で民謡を始め、2001年15歳で津軽三味線を富塚 孝氏に師事。これまでに弘前、金木、東京、名古屋、大阪、神戸の全国大会最高部門で13回の優勝を果たし、津軽三味線奏者として史上最多の優勝回数を誇る。



白田路明
9歳で本格的に三味線を始め現在プロの三味線奏者として北海道から全国そして、世界へと活動中の中様々な文化にふれ、今まで人々が根付いてきた、昔古来から生まれた風土、情熱人の生きる命の源を三味線で表現をし、ひとりでも多くの人に日本伝統三味線の魅力を伝えている。



杉山大祐
テレビの影響を受け10歳の頃より近藤のぶ代氏に師事し、津軽三味線、民謡を習い始める。「笑顔と感動のあふれるステージを！」という 強い気持ちをもって活動中の津軽三味線奏者。



永村幸治
9歳の頃、両親の影響で民謡三味線を北嶋晴武氏に師事、13歳で津軽三味線を一川明宏氏に師事。津軽三味線に洋楽器というスタイルを確立し「よさ」を大切にしながらも 石川県金沢市在住だからこそ出来る音楽を表現し活動している。



匹田大智
民謡三味線の師範である祖母と母の影響を受け、9歳より津軽三味線を始め、2006年に津軽三味線福居流・福居慶大氏に師事。その後、ロックを軸にエレクトロやヒップホップなどの要素を取り入れた音楽性や演奏スタイルを確立する。また、数多くのアーティスト等ジャンルを越えたコラボレーション、劇伴作品への参加など活動は多岐にわたる。